

## 令和7年度 まちづくり研修 実施要領

研修管理システムにより、お申込みをお願いいたします。

### 1. 目 的

人口減少、超高齢化社会の一層の進展のなか、持続可能なまちづくりを促進するため、住民、NPO、企業等の多様な主体が互いに協力し合い、こころ豊かに暮らす地域経営や地域課題解決策に向けた行政のあり方や役割について、考え、学び、まちづくり行政の知見を深める。

### 2. 対象者及び募集人員

- (1) 対象職員  
兵庫県、県内市町の主にまちづくり・都市計画行政に取り組む職員
- (2) 募集人員  
40名

### 3. 開催概要

- (1) 日 時  
令和8年 2月 6日（金） 10時55分～16時10分
- (2) 会 場  
詳細は次ページ「6. 会場案内図」を参照ください。  
兵庫県私学会館 2階 大会議室 神戸市中央区北長狭通4-3-13
- (3) 講義及び講師  
別紙「プログラム」のとおり
- (4) 携 行 品  
筆記用具

### 4. 研修会費及び納入方法

- (1) 研修会費  
3,000円
- (2) 納入方法
  - ①支払い方法は、原則、電子請求による振込みとします。
  - ②研修終了後、電子請求書発行システム（楽楽明細）により請求します。
  - ※）自己都合によるキャンセルの場合、受講料は全額請求します。
  - なお、研修終了後、欠席者宛テキストをお送り致します。

### (1) 申し込み方法

申し込みが完了しましたら、申込受付完了メールが届きますが、後日、受講決定通知メールが届くまでは受講可能とはなりませんのでご注意ください。

令和 8 年 1 月 23 日 (金) 17 時まで

事務担当 須古

メール: kenshu@hyogo-ctc.or.jp

This map shows the area around JR Motoyama Station. The station is located at the intersection of the San'yō Shinkansen line and the San'yō Main Line. The map includes the following features:

- JR 元町駅 (JR Motoyama Station):** The main station building, shown as a large white rectangle.
- 阪神電鉄元町駅 (Kansai Railway Motoyama Station):** A smaller station building located south of the JR station.
- San'yō Shinkansen Line:** Represented by a double-track line with a dashed center line, running horizontally across the map.
- San'yō Main Line:** Represented by a single-track line with a dashed center line, running horizontally below the Shinkansen line.
- 東出口 (East Exit):** Marked with a black dot and labeled.
- 元町駅交番 (Motoyama Station Kōban):** A police box, marked with a black dot and labeled.
- 周辺施設 (Surrounding Facilities):** Various buildings and landmarks are labeled, including the 兵庫県民会館 (Hyogo Prefectural Civic Hall), 兵庫県立美術館 (Hyogo Prefectural Museum of Art), 神戸市営地下鉄 (Kobe City Subway), 生田新道 (Ikuta Shinhodō), 富士信ビル (Fujishin Building), 兵庫県私学会館 (Hyogo Prefectural Private Association Building), 兵庫県立学校厚生会館 (Hyogo Prefectural School Welfare Association Building), 神戸生田中学校 (Kobe Ikuta Junior High School), 兵庫県立病院 (Hyogo Prefectural Hospital), and 鯉川筋 (Koiikawa Kari).
- 方向指示 (Directional Indicators):** Arrows indicate directions to 至神戸 (To Kobe) and 至三ノ宮 (To Minatogawa).

電話：078-335-7699

なお、修了証はアンケートにご回答いただきました方のみ対象になります。

## 8. 講義の概要

### (1) 兵庫県のまちづくりについて

(11:00～11:50)

阪神・淡路大震災で得られた教訓を次代に伝えるため作られた兵庫県「まちづくり基本条例」の概要、その基本理念である「人間サイズのまちづくり」の考え方、同条例に基づき作成している「まちづくり基本方針」の最新版の内容（R4改定）や同条例に基づき実施している「人間サイズのまちづくり賞」の最新の状況を説明します。それに加えて、同条例の考え方にも通ずる官民連携により取り組んでいる、最近の兵庫県のまちづくり施策から、「空き家再生からはじめるエリアマネジメント推進プログラム」「ひょうご復興まちづくりアドバイザー派遣事業」について、概要・考え方・最新の状況を紹介します。

### (2) 住民主体のまちづくりを進めるために必要なこと

～自治体職員に求められる新しい役割～

(13:05～14:20)

- (1) 行政主導の公共から新しい公共へのパラダイムシフト
  - ①人口減少社会への最適化の重要性
  - ②持続可能な地域社会を目指すために
- (2) 持続可能なまちづくりに必要な3つの視点
  - ①住民が主体となる仕組み
  - ②地域経済の循環
  - ③自治体職員の新しい役割
- (3) 事例紹介
  - ①エリアマネジメント
  - ②空き家再生
  - ③コミュニティビジネスの実践

### (3) 住民主体のまちづくりの持続可能性をデザインする

(14:35～16:05)

- (a) ワーク①「課題の見える化と共感」

地域課題のケーススタディから、課題の背景にある住民の思いや願いを言語化します。
- (b) ワーク②「持続可能な解決策のデザイン」

住民主体の解決策を抽出して、その実践方法をデザインします。
- (c) ワーク③「行政の対応策のデザイン」

住民主体のまちづくりを支援するために、行政職員はどうあるべきかを考えます。
- (d) まとめと振り返り

# 令和7年度 まちづくり研修 プ ロ グ ラ ム

	時 間		研 修 テ ー マ	担 当 講 師
令和8年2月6日（金）	10時30～		受付	
	10時55分～11時00分		オリエンテーション	
	11時00分～11時50分	50分	「兵庫県のまちづくりについて」	兵庫県まちづくり部 都市政策課 都市政策班 （都市政策担当） 主幹 田路 清嗣
	11時50分～12時50分	60分	昼 休 憩	
	12時50分～13時05分	15分	まち技センターからの事業紹介	（公財）兵庫県まちづくり技術センター まちづくり推進部 まちづくり支援課
	13時05分～14時20分	75分	「住民主体のまちづくりを進めるために必要なこと」 ～自治体職員に求められる新しい役割～	（特非）神戸まちづくり研究所 副理事長 浅見 雅之 （ひょうごまちづくり専門家バンク登録）
		15分	休 憩	
	14時35分～16時05分	90分	「住民主体のまちづくりの持続可能性をデザインする」	（特非）神戸まちづくり研究所 副理事長 浅見 雅之 （ひょうごまちづくり専門家バンク登録）
	16時10分		閉 会	
会場：兵庫県私学会館 2階 大会議室 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目3-13 Tel：078-335-7699				